

著書ハ謂ハユル大動物學ノ名ニ背カズ、既刊ノ緒言ヨリ察スルモ非常ニ浩幹ノ本ニナルデアラウト想ハレ、又出版時日ノ遅々タル所ヨリ考ヘルト、何時完結セラル、コトヤラ、著者一生涯ノ仕事デアラウト思ハレタ位デアル。著者ハ是ニ注意セラレタモノト見エ、世間ノ渴望ヲ充タサンガ爲メ、今回ハ上下二卷トシテ中動物學トモ言フベキモノヲ著ハサレタノデアル。私ハ未ダ悉クハ讀マヌガ、今度出版サレタノハ唯上卷ノミデ頁數ハ三百八十、内容ハ總論丈デアル。下卷ノ頁數ハ幾許ニナルカ不明ナレドモ、上卷一冊ハ總論ノミトスルト、各論ハ下卷一冊デ不足ノヤウ書デニモ感ゼラル、ガ、上下出揃ツタ上ナラデハ何トモ批評ノ加ヘヤウガナイ。兎ニ角石川博士ノ著アレバ、杜撰ノアラウ筈モナク、殊ニ邦語ノ動物參考書拂底ノ際デアレバ、世間ニ歡迎サルベキコトハ疑ヲ容レヌ。上卷ノ体裁ニ就キテ申スト、數多キ圖版ノ鮮明ナルハ歐米ノ書ニ優ルトモ劣ルコトナク、寧ロ贅澤ナル程ノ三色版モ數葉挿入サレテアリ、紙質及ビ製本モ堅牢デ、活字モ極メテ鮮明デアル。動物ノ參考書トシテハ未曾有ノ良書ト信ズル。

一飯塚啓著 海産動物學

全

發行所 同前博文館

定價 貳圓五拾錢

本書ハ去ル明治四十年ニ初メテ出版サレタモノ、再版デアル。本書ノ價值ニ就キテハ既ニ一定

ノ世評モアレバ敢テ贅言ヲ要セヌコト、思フ。初版ニ比スレバ五十頁ヲ増シ、海洋ノ探檢及ビぶらんくこんノ定量的研究ノ二章ヲ追加セラレ、製本モ以前ヨリハ堅牢ニ見受ケラル。

一宮島幹之助 閑人體寄生動物

全

發行所 東京本郷龍岡町 南山堂

定價 參圓八拾錢

飯島博士ガ歸朝早々、明治二十年ニ出版セラレタ人體寄生動物編ハ、爾來二十餘年間特リ動物學界ノミナラズ、醫學界ニモ廣ク珍重セラレシガ、出版元ナル敬業社ノ破産ト共ニ絶版ト成リ、學界ノ失望措カザル所ナリシガ、博士ノ門下生タル小泉學士ハ師ノ志ヲ繼ギテ其ノ缺乏ヲ充タサレタノデアル。二十年前ニ比スレバ一般ノ科學ト共ニ寄生動物學モ大ニ面目ヲ改メ、從來不明タリシ寄生動物ノ經歷モ明瞭ト成レルモノ多キ今日ノ著ナレバ參考スベキ良書ト信ズル。

本會記事

大正元年十一月第二土曜日本校講堂ニ於テ本會第二十四回例會ヲ開キ次ノ講演アリタリ

本邦ニ於ケル金ノ歴史ニツキテ

岩崎 講師

空中飛行機ニツキテ

札幌附近ノ地質及び有珠岳噴火ニツキテ

上野動物園ノ動物

大正二年二月第二土曜日本校体操場ニ於テ本會第二十五回例会ヲ開キ次ノ講演アリタ

塗料ニツキテ

學校園ニツキ

七十四

大島志摩	名取はな	磯部房枝	河原ミツ	福岡はるの	土取福	上原幾重	沼野はな	井坂やそ	大石とよ	山西しげの	坂ゆう	三方ちよ	榆木ナツ
------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	------	-------	-----	------	------

本日尙兩講演ノ間ニ校長ヨリ理科教授ニ關スル先生ノ御希望ヲ講話セラレタリ

大正元年十月一日ヨリ
同二年三月三十一日迄 會費受領報告

四、八〇	四十二……大正五年	橋本恒子
二、四〇	四十二……四十四年	佐藤テル
同	四十三……四十五年	永井やゑ
同	同	滋賀千代
一、四〇	四十五……大正二年	平野つや
一、六〇	四十四……四十五年	江本よし
同	四十五殘分……大正三年	佐々木ふみの
同	四十五……大正三年内入二十錢	松宮しを
一、〇〇	四十二……四十四年 二十錢	瀧谷ハル
〇、八〇	四十五年	本田香連
同	同	石澤ちか

七十五